

平成24年度

事業計画書  
収支予算書



公益財団法人 東京都島しょ振興公社

# 目 次

I. 平成24年度事業計画及び予算について	1
II. 平成24年度事業計画書	
1 公益目的事業	
(1) 地域振興に係る特産品の開発、普及、観光の振興、人材育成及び助成事業	2
(2) 特産品に係る展示販売、斡旋事業	4
(3) 情報・資料の収集提供及び広報事業	5
(4) 地域振興に係る施設の設置・管理運営事業	6
(5) 島しょ間交通網の整備に関する調査・研究及び支援事業	6
2 収益事業等	
(1) 東京愛らんど飲食事業	7
III. 平成24年度収支予算書	
収支予算書（損益ベース）	8
収支予算書内訳表（損益ベース）	10
資金調達及び設備投資の見込みについて	11

## I. 平成24年度事業計画及び予算について

我が国は、東日本大震災や福島第一原子力発電所事故の影響、歴史的な円高など依然として厳しい状況にある。また、ギリシャをはじめとする欧州債務危機といった、日本のみならず世界経済全体を揺るがしかねない深刻なリスクを抱えており、将来への不安や閉塞感はますます強まっている。

一方、公社の事業運営についても、低金利を背景とした基本財産・運用財産運用収入等の伸び悩みなどにより、引き続き厳しい状況にある。

このような状況において、公社は、平成22年3月に策定した第2次中期実施計画（平成22年度～平成24年度）に基づき、島しょ地域の振興を推進していくため、地元町村と一層の連携を図りながら、戦略的なビジョンを持ち、真に地域に必要とされる事業を実施するとともに、効果的、効率的な財政運営を行っていかねなければならない。

そのため、今まで以上に創意工夫を凝らし、事業の効率性や実効性の高い事業を重点におくとともに、公益財団法人という社会的信用をバックに、公益事業の一層の推進を図っていくことが必要である。

以上のような視点に立ち、下記の方針に基づき、平成24年度予算を編成する。

### 記

- 1 伊豆諸島・小笠原諸島の振興を図るため、平成24年度が最終年度となる第2次中期実施計画に基づき着実な事業展開を図る。また、厳しい財政状況であっても、真に必要な事業については、これを確実に実施するための必要な予算を確保する。
- 2 各事業の実施にあたっては、歳出の精査に取組み常に費用対効果を検証する一方、事業の基本に立ち返るとともに実施内容を精査し経費の削減に努める。
- 3 各事業を複合的に展開し効率的・効果的な事業運営を行うとともに、島しょ地域の情報の受発信をより一層充実していくため、地元町村、生産者等関係者との連携をより一層強化する。

なお、個々の事業の運営にあたっては、社会経済状況の動向等を見極めながら柔軟・的確な執行に努める。

## II. 事業計画書

## I. 平成24年度事業計画及び予算について

我が国は、東日本大震災や福島第一原子力発電所事故の影響、歴史的な円高など依然として厳しい状況にある。また、ギリシャをはじめとする欧州債務危機といった、日本のみならず世界経済全体を揺るがしかねない深刻なリスクを抱えており、将来への不安や閉塞感はますます強まっている。

一方、公社の事業運営についても、低金利を背景とした基本財産・運用財産運用収入等の伸び悩みなどにより、引き続き厳しい状況にある。

このような状況において、公社は、平成22年3月に策定した第2次中期実施計画（平成22年度～平成24年度）に基づき、島しょ地域の振興を推進していくため、地元町村と一層の連携を図りながら、戦略的なビジョンを持ち、真に地域に必要とされる事業を実施するとともに、効果的、効率的な財政運営を行っていかねなければならない。

そのため、今まで以上に創意工夫を凝らし、事業の効率性や実効性の高い事業を重点におくとともに、公益財団法人という社会的信用をバックに、公益事業の一層の推進を図っていくことが必要である。

以上のような視点に立ち、下記の方針に基づき、平成24年度予算を編成する。

### 記

- 1 伊豆諸島・小笠原諸島の振興を図るため、平成24年度が最終年度となる第2次中期実施計画に基づき着実な事業展開を図る。また、厳しい財政状況であっても、真に必要な事業については、これを確実に実施するための必要な予算を確保する。
- 2 各事業の実施にあたっては、歳出の精査に取組み常に費用対効果を検証する一方、事業の基本に立ち返るとともに実施内容を精査し経費の削減に努める。
- 3 各事業を複合的に展開し効率的・効果的な事業運営を行うとともに、島しょ地域の情報の受発信をより一層充実していくため、地元町村、生産者等関係者との連携をより一層強化する。

なお、個々の事業の運営にあたっては、社会経済状況の動向等を見極めながら柔軟・的確な執行に努める。

## II 平成24年度 事業計画書

### 1 公益目的事業 ー 東京都島しょ地域の振興に係る事業 予算額 593,900 千円 (対前年度比△11,142 千円)

#### (1) 地域振興に係る特産品の開発、普及、観光の振興、人材育成及び 助成事業 (地域振興事業)

(定款第4条第1項第1号)

予算額 80,233 千円 (対前年度比△5,819 千円)

島しょ地域に有する資源等を用いた特産品の開発・普及に努めるとともに、自ら実施しようという中小企業・グループ等に対し事業経費を補助する。また、観光振興及び人材育成を通じた島しょ地域の振興を図る。

事業名	内 容	主な取組
特産品推進 11,786 千円 (+8 千円)	島しょ地域に有する特産品資源調査を行うとともに、重点的に販売する特産品を選定し、PR営業活動に取り組む。また、新たな特産品の開発にも取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインプロジェクト実施</li> <li>・特産品資源調査、新たな特産品開発</li> </ul>
地域振興補助 29,650 千円 (△1,555 千円)	地域資源を活用した特産品・観光振興に取り組む島しょ地域の中小企業等に対する補助を(公財)東京都中小企業振興公社と連携して実施するほか、特産品・観光振興・人材育成に係る事業を積極的に実施しようとするグループ等に対し補助を実施し、島しょ地域の振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域振興補助事業</li> <li>・中小企業等補助事業</li> </ul>
観光振興 22,893 千円 (△3,272 千円)	全町村参加型のイベントを開催するとともに首都圏で開催される各種イベントに積極的に参加することにより、島しょ地域のPRを行う。また、今年度はポスターデザインコンテストに替えて東京諸島フォトコンテストを実施することにより、広く一般の方に島しょ地域の魅力を伝えるとともに、観光振興に繋がる写真素材の収集を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛らんどフェア開催</li> <li>・その他イベント参加</li> <li>・広告宣伝PR</li> <li>・島じまん協賛</li> <li>・外国語MAP作成</li> <li>・東京諸島フォトコンテスト実施</li> <li>・特定商品PR戦略調査</li> </ul>
人材育成 15,904 千円 (△1,000 千円)	自ら人材育成をしようとする団体やグループと共同し、島民のニーズにあった人材育成事業を行う。また、島しょ地域の少年少女に対し、スポーツを通じた各島間の交流の場を提供し、視野の広い後継者の育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛らんどリーグ開催</li> <li>・人材育成共同事業</li> </ul>

※ ()内は対前年度比

※記載の予算額は、給与手当・福利厚生費を除く

(2) 特産品に係る展示販売、斡旋事業 (特産品展示販売事業)

(定款第4条第1項第2号)

予算額 23,197 千円 (対前年度比+1,287 千円)

島しょ地域の特産品販売促進のため、竹芝客船ターミナル内の伊豆諸島・小笠原諸島のアンテナショップ「東京愛らんど」の運営及び特産品の展示販売を行うとともに、カタログ及びインターネットを利用した通信販売を行う。

事業名	内容	主な取組
東京愛らんど運営事業 14,672 千円 (+1,035 千円)	島しょ地域の特産品を展示・販売するとともに、顧客の動向やニーズ等を把握し、特産品のPR及び販路拡大を図る。	・店舗運営
通信販売 (東京愛らんど市場) 8,524 千円 (+252 千円)	島しょ地域の特産品のカタログ及びインターネットによる通信販売を行い、より一層の販売促進を図る。	・通信販売業務

その他、新店舗 科目存置 1 千円

※ () 内は対前年度比

※記載の予算額は、給与手当・福利厚生費を除く

(3) 情報・資料の収集提供及び広報事業（広報宣伝事業）

（定款第4条第1項第3号）

予算額 30,445 千円（対前年度比△7,359 千円）

島しょ地域の情報・資料収集を行い、広告代理店等を活用した広報宣伝を行うとともに、公社ホームページの充実などにより、島しょ地域の特産品・観光情報等を発信する。

事業名	内容	主な取組
広報宣伝 29,133 千円 (△7,067 千円)	広告代理店を活用し、マスメディアを通じて島しょ地域の特産品及び観光等のPR活動を実施する。 また、在日外国人やSNS等で発信力のある者を対象としたツアーを企画・実施するほか、夏季観光シーズンなどをとらえた広報など、戦略的な広報宣伝を実施する。	・広告宣伝業務委託 ・期間限定広告宣伝 ・海外メディアツアー等実施
愛らんど ネットワーク 1,312 千円 (△292 千円)	公社ホームページの更新を随時実施し、島しょ地域の特産品及び観光情報等を発信する。	・ホームページ運営

※ () 内は対前年度比

※記載の予算額は、給与手当・福利厚生費・減価償却費を除く



(4) 地域振興に係る施設の設置・管理運営事業（施設等管理運営事業）  
 （定款第4条第1項第4号）

予算額 19,161 千円（対前年度比+2,505 千円）

災害用木炭等備蓄の管理運営を行う。

事業名	内容	主な取組
倉庫等賃貸	東京都から災害対策用木炭等備蓄の委託を受け、保管管理を行う。 また、倉庫の修繕を適切に実施していくとともに、倉庫設置から相当年数が経過し劣化等がみられることから、計画的な修繕等を行うため、劣化状況等の現況調査を行う。	・災害用木炭等備蓄倉庫保管管理、修繕

※ () 内は対前年度比

※記載の予算額は、給与手当・福利厚生費を除く

(5) 島しょ間交通網の整備に関する調査・研究及び支援事業（交通関連事業）  
 （定款第4条第1項第5号）

予算額 440,864 千円（対前年度比△1,756 千円）

ヘリ・コミューターによる島しょ間の運航についての支援等を行う。

事業名	内容	主な取組
ヘリ・コミューター運航支援	島民の生活安定及び産業振興に重要な役割を担うヘリ・コミューターの島しょ間運航について支援を行うとともに、運航に係る施設・設備の保守管理等を行う。	・ヘリ・コミューター運航支援等

※ () 内は対前年度比

※記載の予算額は、給与手当・福利厚生費を除く

## 2 収益事業等

### (1) 東京愛らんど飲食事業

予算額 12,625 千円 (対前年度比△1,928 千円)

東京愛らんどにおいて、島しょ地域の農水産物を活用した飲食提供を行う。

事業名	内容	主な取組
東京愛らんど 飲食事業	島しょ地域の農水産物の販売促進と認知度を向上させるため、竹芝客船ターミナル内の伊豆諸島・小笠原諸島のアンテナショップ「東京愛らんど」において、飲食提供を行う。	・店舗運営

※ () 内は対前年度比

※記載の予算額は、給与手当・福利厚生費を除く

### Ⅲ. 収支予算書

# 収支予算書（損益ベース）

期 間 （平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（単位：千円）

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
<b>I 経常増減の部</b>			
<b>1. 経常収益</b>			
①基本財産運用益	65,849	65,612	237
基本財産受取利息	65,849	65,612	237
②事業収益	65,741	67,171	-1,430
地域振興事業収益	13,200	14,400	-1,200
特産品展示販売事業収益	13,720	13,720	0
施設等管理運営事業収益	23,854	23,850	4
交通関連事業収益	14,967	15,201	-234
③受取補助金等	447,419	449,510	-2,091
受取運営費補助金	17,169	18,510	-1,341
受取地方公共団体助成金	430,000	430,000	0
受取補助事業	250	1,000	-750
④受取負担金	30,311	32,382	-2,071
受取運営負担金	23,351	23,982	-631
受取事業負担金	6,960	8,400	-1,440
⑤受取寄附金	1	1	0
受取寄附金	1	1	0
⑥雑収益	51,446	52,698	-1,252
運用財産受取利息	47,214	48,376	-1,162
雑収益	4,232	4,322	-90
経常収益計	<b>660,767</b>	<b>667,374</b>	<b>-6,607</b>
<b>2. 経常費用</b>			
<b>①事業費</b>			
給与手当	39,933	40,194	-261
福利厚生費	9,120	9,701	-581
旅費交通費	10,050	13,750	-3,700
通信運搬費	2,706	2,780	-74
減価償却費	18,559	19,922	-1,363
消耗器具備品費	1,002	602	400
消耗品費	820	1,150	-330
会議費	100	105	-5
印刷製本費	4,556	4,481	75
光熱水料費	6,990	8,430	-1,440
貸借料	9,512	10,063	-551
保険料	834	834	0
諸謝金	2,687	2,752	-65
広告宣伝費	3,800	401	3,399
支払負担金	435,237	432,582	2,655
支払助成金	29,000	29,000	0
租税公課	1,375	1,367	8
特産品費	10,827	10,827	0
修繕費	6,551	4,902	1,649
委託費	60,898	74,676	-13,778
燃料費	120	120	0
雑費	901	851	50
事業費計	<b>655,578</b>	<b>669,490</b>	<b>-13,912</b>

②管理費			
給与手当	9,367	9,428	-61
臨時雇賃金	1,078	1,078	0
福利厚生費	2,139	2,275	-136
旅費交通費	4,377	4,332	45
通信運搬費	720	720	0
減価償却費	102	241	-139
消耗器具備品費	480	450	30
消耗品費	207	210	-3
会議費	127	127	0
印刷製本費	249	349	-100
光熱水料費	4,320	5,280	-960
賃借料	8,240	7,700	540
保険料	70	70	0
諸謝金	3,636	3,649	-13
租税公課	900	900	0
修繕費	300	300	0
委託費	961	1,016	-55
雑費	4,678	4,668	10
管理費計	41,951	42,793	-842
経常費用計	697,529	712,283	-14,754
当期経常増減額	-36,762	-44,909	8,147
II. 経常外増減の部			
1. 経常外収益	0	0	0
2. 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-36,762	-44,909	8,147

(注) 1 公益目的事業会計に係る経常収益は6億265万9千円、経常費用は6億3,992万5千円

2 収益事業等会計に係る経常収益は1,565万3千円、経常費用は1,565万3千円

3 法人会計に係る経常収益は4,245万5千円、経常費用は4,195万1千円

4 経常外収益、経常外費用は未計上

# 収支予算書内訳表(損益ベース)

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:千円)

科目	公益目的事業会計						収益事業等会計 愛らんど飲食事業 他1	法人会計	内部取引消去	合計
	公1	地域振興	展示販売	広報宣伝	施設管理	交通関連				
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
① 基本財産運用益	55,699	0	0	0	0	0	55,699	10,150	0	65,849
基本財産受取利息	55,699	0	0	0	0	0	55,699	10,150	0	65,849
② 事業収益	64,971	13,200	12,950	0	23,854	14,967	0	770	0	65,741
地域振興事業収益	13,200	13,200	0	0	0	0	0	0	0	13,200
特産品展示販売事業収益	12,950	0	12,950	0	0	0	0	770	0	13,720
施設等管理運営事業収益	23,854	0	0	0	23,854	0	0	0	0	23,854
交通関連事業収益	14,967	0	0	0	0	14,967	0	0	0	14,967
③ 受取補助金等	430,250	250	0	0	0	430,000	0	0	17,169	447,419
受取運営費補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	17,169	17,169
受取地方公共団体助成金	430,000	0	0	0	0	430,000	0	0	0	430,000
補助事業収益	250	250	0	0	0	0	0	0	0	250
④ 受取負担金	2,227	0	2,227	0	0	0	0	4,733	23,351	30,311
受取運営負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	23,351	23,351
受取事業負担金	2,227	0	2,227	0	0	0	0	4,733	0	6,960
⑤ 受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
⑥ 雑収益	49,512	0	300	0	0	1,298	47,914	0	1,934	51,446
運用財産受取利息	45,714	0	0	0	0	0	45,714	0	1,500	47,214
雑収益	3,798	0	300	0	0	1,298	2,200	0	434	4,232
経常収益計	602,659	13,450	15,477	0	23,854	446,265	103,613	15,653	42,455	660,767
(2) 経常費用										
事業費/管理費	639,925	80,233	23,197	30,445	19,161	440,864	46,025	15,653	41,951	697,529
給料手当	37,468	0	0	0	0	0	37,468	2,465	9,367	49,300
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0	0	1,078	1,078
福利厚生費	8,557	0	0	0	0	0	8,557	563	2,139	11,259
旅費交通費	10,050	7,850	500	900	200	600	0	0	4,377	14,427
通信運搬費	2,706	1,111	1,356	79	0	160	0	0	720	3,426
減価償却費	14,431	139	1,785	184	6,424	5,899	0	4,128	102	18,661
消耗器具備品費	1,002	1	1,000	1	0	0	0	0	480	1,482
消耗品費	820	275	100	121	175	149	0	0	207	1,027
会議費	100	0	0	0	0	100	0	0	127	227
印刷製本費	4,556	2,075	2,480	1	0	0	0	0	249	4,805
光熱水料費	2,257	0	2,227	0	30	0	0	4,733	4,320	11,310
賃借料	5,845	1,859	869	819	2,298	0	0	3,667	8,240	17,752
保険料	797	70	23	0	484	220	0	37	70	904
諸謝金	2,687	1,636	1	0	0	1,050	0	0	3,636	6,323
広告宣伝費	3,800	3,500	300	0	0	0	0	0	0	3,800
支払負担金	435,237	5,001	1	0	0	430,235	0	0	0	435,237
支払助成金	29,000	29,000	0	0	0	0	0	0	0	29,000
租税公課	1,375	45	40	40	400	850	0	0	900	2,275
特産品費	10,827	0	10,827	0	0	0	0	0	0	10,827
修繕費	6,551	0	50	0	6,500	1	0	0	300	6,851
委託費	60,838	27,000	1,438	28,200	2,600	1,600	0	60	961	61,859
燃料費	120	120	0	0	0	0	0	0	0	120
雑費	901	551	200	100	50	0	0	0	4,678	5,579
経常費用計	639,925	80,233	23,197	30,445	19,161	440,864	46,025	15,653	41,951	697,529
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 37,266	△ 66,783	△ 7,720	△ 30,445	4,693	5,401	57,588	0	504	△ 36,762
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 37,266	△ 66,783	△ 7,720	△ 30,445	4,693	5,401	57,588	0	504	△ 36,762
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 37,266	△ 66,783	△ 7,720	△ 30,445	4,693	5,401	57,588	0	504	△ 36,762

## 資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れ・返済の予定

(単位：千円)

借入先	金額	用途
東京都	560,000	公社事業及び法人運営
東京都	-560,000	東京都借入金の返済

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における設備投資（除却又は売却を含む。）の予定単位：千円

設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の用途
福利住宅敷金	収入 267	公社職員福利住宅敷金戻り
福利住宅敷金	支出 520	公社職員福利住宅敷金